

## 環境

グループ社員への啓発

# グループ社員への啓発

### 戦略とリスク管理

### 取り組み

- 国内外グループ会社のGHG排出量の把握
- 社員教育・環境eラーニング

### 戦略とリスク管理

当社がGHG削減目標として掲げる「2050年ネット・ゼロエミッション」達成のためには、すべての社員の環境意識の向上を図ることが重要です。当社グループの一人ひとりが環境課題を自分ごととして捉え、積極的に行動する企業風土を醸成すべく、環境教育や啓発活動を繰り返し実施するとともに、グループ各社・各部門の担当者がGHGデータの収集と集計に携わる体制を構築し、運用しています。

### 取り組み

#### 国内外グループ会社のGHG排出量の把握

環境負荷データの把握は、GHG排出量削減への第一歩です。当社では、当社グループ全体の環境負荷を把握し各社での取り組みを促すため、国内・海外の連結子会社を対象に、電気、ガスや燃料などのエネルギー使用量や産業廃棄物などのGHG排出量の収集および集計を行っています。

#### ● 国内

2007年1月より国内主要連結グループ会社を対象にデータ収集を開始しました。2024年3月時点では、220拠点において35項目のデータ収集を行っています。

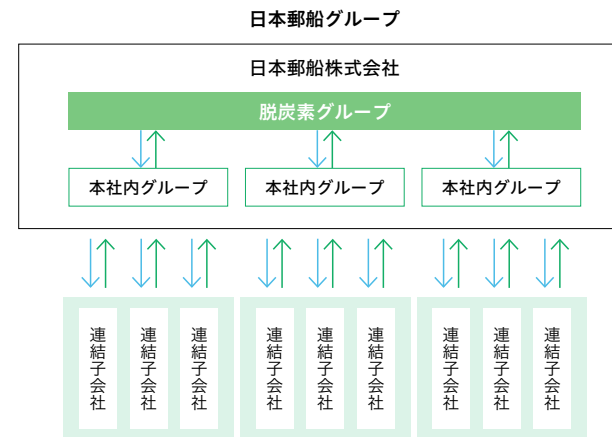
#### ● 海外

2008年1月より海外主要連結グループ会社を対象にデータ収集を開始しました。2024年3月時点では、342拠点において国内と同じ35項目のデータを収集しています。

このネットワークはデータの可視化や収集だけでなく、各社とのコミュニケーションツールにもなっています。2023年度からはさらに、本社内各グループにGHG集計担当者を配置し、連結グループ会社と連携を取りながらScope1からScope3までのGHGデータ収集と集計をより精緻に実施できる体制としました。

今後、継続的な分析を行うことでより効果的なGHG排出量削減に向けて取り組んでいきます。

#### ■ GHG 排出量集計のイメージ



→ GHGデータの報告    → 集計・分析結果のフィードバック

### 社員教育・環境eラーニング

当社では毎年eラーニングによる環境教育を実施し、社員の環境意識の維持・向上に努めています。2023年度の環境eラーニングでは、主として地球温暖化に対する世界の取り組み、当社グループの脱炭素化への取り組み、国際海運で進む環境規制の強化を教材に取り入れました。毎年11月から必須研修として実施し、世界各国の当社グループ社員が受講しています。また、当社グループ社員の脱炭素化意識の醸成と脱炭素活動推進のため、脱炭素に関する勉強会も随時開催しています。



「環境 eラーニング」のスタート画面